

第3期高知県スポーツ推進計画の概要（案）

資料3

目指す姿	スポーツの楽しさや感動を共有し 希望と活力ある社会の実現	基本理念	○誰もがスポーツの楽しさや感動を得られる環境づくりを推進する ○スポーツを通じて全ての県民や地域を元気にする	施策の柱	柱① スポーツ参加の拡大
					柱② 競技力の向上
					柱③ スポーツを通じた活力ある県づくり

■今後5年間で計画的に取り組む10の施策

- ① **身近な地域でスポーツに親しめる場の拡充** 柱①
 - 新たなサークルの立ち上げや部活動の地域移行など、市町村における子供のスポーツ環境づくりの推進
 - 子供が気軽に運動やスポーツに親しむことができるプログラムの提供や学校の体育授業の質的向上の推進
 - 中山間地域などにおいて、総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員が核となる健康づくりや生きがいづくりにつながる取組の促進
 - 女性のスポーツを検討する場を通じた女性のスポーツ参加の拡大につながる効果的な取組の推進
 - 東京2020オリンピック・パラリンピックで注目された新たな競技などの普及促進
 - 広域のスポーツ振興につながるスポーツ施設の整備及び学校体育施設の有効活用の促進
- ② **担い手の育成及び活動の活性化** 柱① 柱②
 - 有資格指導者の養成
 - 県スポーツ協会等と連携したスポーツ指導者を育成・マッチングする体制の構築・運用
 - スポーツ推進委員が地域のスポーツイベントを企画・調整する取組の促進
 - スポーツイベントにおいてボランティアの活動意欲を高めるコーディネートや研修の実施
 - 高校生や大学生等によるスポーツサミットの活性化を図り若者のスポーツ参加拡大を推進
- ③ **障害者がスポーツに親しめる環境づくり** 柱①
 - 総合型地域スポーツクラブ等と連携し、地域において気軽に安心してスポーツができる機会の提供
 - 障害者スポーツセンターが核となり、地域コーディネーターによる障害者とスポーツ現場とのマッチングや競技性の高い取組への支援の実施
 - 有望選手を発掘・育成する取組の推進
 - 競技力向上を目指す選手の育成や強化活動などを障害者のスポーツ活動を支援する体制づくり
 - 障害者スポーツ大会の誘致
- ④ **スポーツにおける安心・安全の確保** 柱①
 - 子供達のスポーツへの意欲を高めることができる指導実践に向けた研修等の実施
 - スポーツ団体における適切なガバナンス対応の促進
 - スポーツにおけるけがや事故の防止に向けた啓発や研修等の実施
- ⑤ **デジタル技術の活用** 柱① 柱② 柱③
 - スポーツ情報サイトを活用した情報発信強化
 - 競技団体や地域のスポーツ団体などによる大会やスポーツ教室などの動画配信の拡充
 - VRやARを活用した新たな方法で楽しめる機会の提供
 - 地域のスポーツ施設等に配置しているリモート機器のさらなる活用促進
 - 高知県スポーツ科学センターや競技団体におけるデジタル機器のさらなる活用
- ⑥ **産学官民の連携によるスポーツを支える体制の充実** 柱① 柱② 柱③
 - 子供のスポーツ環境づくりに向けて市町村ごとに課題に対応する体制づくり及び高知県スポーツコミッション等と連携した広域で取り組む体制づくり
 - スポーツに関わる多様な主体が集い意見交換や情報共有する場づくり
 - 県内スポーツを企業が支援する体制づくり
 - スポーツ医科学面から選手や指導者をサポートする体制の強化
 - 競技力向上を目指す選手の育成や強化活動など障害者のスポーツ活動を支援する体制づくり(再掲)
 - スポーツツーリズムに関する関係機関・団体の連携強化
- ⑦ **全国や世界を目指す選手の育成** 柱②
 - 競技団体におけるRPDCAにより、ジュニア選手を中心とした組織的・計画的な取組の推進
 - 高知県スポーツ科学センター(SSC)による競技者や指導者等へのスポーツ医科学サポートのさらなる充実
 - 有望な選手を発掘・育成する取組の拡充
 - 選手や指導者と県内企業とのマッチングなど県内に受け入れる仕組みづくり
 - 全高知チームでの実践研修やSSCにおける研修など競技力向上に向けた県内指導者の指導力向上
 - デジタル技術を効果的に活用した選手の育成
 - 選手の育成・強化活動の拠点となる施設の整備
- ⑧ **スポーツを通じた健康増進** 柱③
 - 高知家健康パスポートアプリの活用した健康づくりの推進
 - 中山間地域などにおいて、総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員が核となる健康づくりや生きがいづくりにつながる取組の促進
 - 中山間地域におけるリモートを活用した健康づくりの取組の推進
 - 誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの開催
- ⑨ **スポーツを通じた地域活性化・まちづくり** 柱③
 - 市町村と連携し、地域の特色を生かしたスポーツ合宿の受入れやスポーツ大会の開催の促進
 - 県観光コンベンション協会等と連携したプロスポーツやアマチュアスポーツのキャンプ・大会・合宿の誘致
 - 全国や海外から参加者が得られるスポーツ大会の開催及び誘致
 - 地元プロチーム等への支援による活動の充実を通じた地域活性化の推進
- ⑩ **スポーツを通じた国際交流** 柱③
 - 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン国など、海外のチームとの相互交流の拡充
 - 今後国内で開催される国際大会に出場する海外チームの事前合宿の本県への受入れ

目指す姿の実現に向けた目標設定

● 運動やスポーツが好きな子供 運動やスポーツが好きな子供の割合をR4から5ポイント増	● 成人のスポーツ実施率 成人の週1回以上のスポーツ実施率を51%→ 65%	● 障害者のスポーツ参加の場 障害者が活動できるチームや団体を26→ 36	● スポーツを支える人材 公募ボランティア増に取り組むスポーツイベントを0→ 12	● スポーツ団体のガバナンス スポーツ団体における ガバナンス対応が充実 している
● 全国や世界で活躍する選手 全国や世界大会で入賞する選手・団体数を81→ 100	● スポーツを通じた健康づくり P	● スポーツによる地域活性化 スポーツに関する県外からの入込客数を3.2万人→ 9万人	● 海外とのスポーツ交流 海外チーム等との スポーツ交流が継続・充実 している	● スポーツを支える体制 多様な主体が連携し スポーツを支える体制が充実 している